

科 目 名	学年	期別・授業形態・単位数	教 員 名 【授業計画】に記載の通り 研 究 室 内 線 電 話 e-mail:	
特別演習 Seminar and Special Practice	2	必 修 前期・演習・2単位		
				授業 (60 時間) + 自己学習 (0 時間) = 標準 60 時間の学習時間
				科目到達レベル: <input type="checkbox"/> 1. 知識・記憶 <input type="checkbox"/> 2. 理解 <input type="checkbox"/> 3. 適用 <input type="checkbox"/> 4. 分析 <input checked="" type="checkbox"/> 5. 評価 <input type="checkbox"/> 6. 創造
<b>【授業目的】</b>				
<p>1. 建設工学コースの専門分野における技術者, 研究者としての基礎的素養を, 幅広い各種の演習を通じて体得させることを目的とする。</p> <p>2. 具体的には, 各種の演習を通じて主体的に研究に取り組む姿勢, 専門分野における学術研究の進め方を修得することが目的である。</p> <p>3. さらに, レポート作成の修得, コミュニケーション能力の育成, 各種プレゼンテーション方法の修得等にも力を注ぐことも目的とする。</p>				
<b>【Course Objectives】 The aim of this course is :</b>				
<p>1. The aim of this course is to acquire the fundamental knowledge the required of engineers in the specialized field of Civil engineering and Architecture Course through various practices.</p> <p>2. Concretely, this course also aims to inculcate the attitude needed to grapple with research independently and the skills needed to proceed with scientific research in a specialized field.</p> <p>3. Moreover, this course also aims to cover how to make a report, how to raise student's communication ability, various presentation abilities, and so on.</p>				
<b>【到達目標】</b>				
<p>1. 各種演習を通じて, 専門分野における基礎的知識を述べることができる。</p> <p>2. 自主的, 継続的に研究に取り組むことができる。</p> <p>3. プレゼンテーションや討論を行うことができる。</p> <p>4. 報告書を適切に作成することができる。</p>				
<b>【学習・教育到達目標】</b>				
<p>(D) 実験・実習・演習を通じて現象を解析し考察することができる。</p> <p>(G) 課題の提案・報告などを効果的に記述し, 説明することができる。</p>				
<b>【キーワード】</b>		<b>【授業時間】</b>		
英語文献, プレゼンテーション, 討論, ゼミナール, 調査, 特許, English literature, presentation, discussion, seminar, investigation, patent		4 時間 (180 分) × 15 週 = 60 時間 (45 時間)		
<b>【授業方法】</b>		<b>【学習方法】</b>		
OJT を中心に必要な技法を幅広く学習する。演習として具体的には, 基本的研究論文の講読, 原書講読, 各種調査, データ解析, 分野ごとのトピックスの展開等を実施する。授業は 5 週毎に各担当教員が得意分野について担当し, オムニバス形式での演習を行う。		授業に臨む態度として, 積極的・主体的に演習に取り組むことが必要である。さらに, 各種プレゼンテーション, 報告書を通して, 成果のアウトプットが充分できるような学習を心がける。		
<b>【履修上の注意】</b>		<b>【科目の位置付け】</b>		
<b>【定期試験の実施方法】</b>		1. 先行して履修すべき科目 特別実験		
定期試験は行わず, 演習課題に対するレポートの提出を義務づけ, 各種プレゼンテーションを組み合わせる。		2. 後で履修する関連科目		
<b>【成績の評価方法・評価基準】</b>		3. 同時に履修する関連科目 特別研究		
課題レポートの内容, 演習に対する主体性・集中力等を勘案し, 各担当教員が評価する。これらの評価を平均して総合評価とする。				

**【教科書・教材等】**

演習テーマ毎に、担当教員が指導書を用意する。

**【参考書・参照 URL 等】**

参考書：

**【授業計画】**

週	内 容	到達目標	教科書参照ページ
1 - 5 週：小林教員			
第1週	シラバスの説明，英語学術論文①の輪講および課題演習	2, 4	
第2週	英語学術論文②の輪講および課題演習	2, 4	
第3週	英語学術論文③の輪講および課題演習	2, 4	
第4週	英語学術論文④の輪講および課題演習	2, 4	
第5週	英語学術論文⑤の輪講および課題演習	2, 4	
6 - 10 週：玉田教員			
第6週	シラバス内容の説明，論文等における図・表・グラフ作成の基本	1, 4	
第7週	梁の解析に関する微分方程式の解説	1	
第8週	梁の断面力図，変形図のグラフ作成演習	1	
第9週	成果の中間発表と図表修正	3, 4	
第10週	最終成果のプレゼンテーションと相互評価	3, 4	
11 - 15 週：四蔵教員			
第11週	シラバス内容の説明，英文文献講読	1	
第12週	特別研究概要の英訳	1	
第13週	プレゼンテーションの基礎とスライド作成	3	
第14週	特別研究課題のプレゼンテーションとディスカッション	3	
第15週	特別研究課題のプレゼンテーションとディスカッション	3	

★定期試験

**【学生へのメッセージ】**

演習を通じて、自主的・継続的に研究に取り組む姿勢を身につけてほしい。また、学習で得た成果を、アウトプットとして明示できるように工夫してほしい。